



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度

RI会長

シェカール・メータ

RIテーマ

SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリー第 2830 地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 成田 秀治 会長 ● 小澤 一雅 幹事 ● 横町 芳隆 SAA ● 神山 智子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目 6-6
八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会

4月 母子の健康月間

vol.31

第 2478 回例会 2022.4.19

司会：小野晶子副SAA

典・祝賀会のご案内

6月18日(土)

RIテーマ

点鐘

- ・四つのテスト
- ・ロータリーソング
- ・クラブソング

🌀 ご結婚祝い



石橋十四男会員

🌀 親睦委員会

千葉哲也会員



ニコニコBOX

石橋十四男会員：結婚記念日祝いありがとうございます。

吉田悦子会員：知床会で優勝しました。ありがとうございます。

田村隆直会員：前々回、誕生日のお礼と年齢言うの忘れえました。57歳です。

米山記念奨学金

澤口忠彦会員：

🌀 会長要件

小澤一雅会長



ウクライナの募金を受付で集めさせていただきます。皆さんからともご協力いただいております。21日までにこちらに届けていただければ有難いですし、来れないという方は振り込みでもかまいませんのでよろしく願いいたします。

来週の中央さんとの合同例会ですけれども、お弁当持ち帰りスタイルで考えておりましたが、中央さんから食事をしたいという要望がありまして、皆さんのご意見を伺いたいと思います。感染対策をして会食ありの昼例会にさせていただきます。

🌀 幹事報告

吉田悦子副幹事



◎南グループ現次会長幹事会のご案内

6月3日(金) 八戸グランドホテル

◎弘前アップルRCより創立10周年記念式

🌀 出席報告

本日の出席率	71 %
前々回 (4 / 5) の修正出席率	86.4 %





母子と健康について

小澤一雅会長



4月は母子の健康月間です。ロータリーの活動は大きなニーズのある次の分野に重点をおいて行われています。平和の推進、疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護という七つです。その中の母子の健康についてお話させていただきます。

出産は命がけと言われるとおりに、世界中では出産で死亡する母親や子供が少なくありません。私も48年前に母子共に危険な状態で生まれたそうです。お医者さんからはこの子供は二十歳まで生きられるか分からないと言われたと母から聞きました。日本での死亡率は今はいぶ少ないですけども、私が生まれたころはもうちょっとあって、文字通り命がけに近い状況でした。

毎年、5歳未満で命を落とす子供が世界で推定590万人、その半数が一か月に満たない新生児だそうです。妊産婦の死亡は年間30万人、妊産婦10万人に対して0.21%の方が亡くなっています。最も死亡率が高い国は、シエラレオネ、次いで中央アフリカ、チャド、ナイジェリアと続きます。開発途上国での妊娠出産がいかに危険であるかがえると思います。その原因は、栄養失調、医療設備・衛生設備の欠如、家族計画の意識の低さ、低年齢での出産などあります。栄養失調や適切な医療設備は環境さえ整備すれば防げるものです。予防可能な原因で母子が命を落とすことが無いように、ロータリークラブではすべての母子が質の高い医療を受けられるように、出産で命を落とす母親がいなくなって子供がすくすくと成長できるような環境整備を支援活動として行っております。

具体的には教育です。出産する母親、出産を補助する人たちへの教育、予防接種、出産キット、移動

クリニックなど、あらゆる方法で母子の健康を推進しています。HIV母子感染の予防として、適切な研修を受けた医者、看護師、助産師、医療従事者によるケアを受けられるようにしています。また清潔な出産キットの配付など妊婦が安全な環境で出産できるよう支援しています。蚊帳の提供や定期健診の推進。日本とブラジルのクラブがロータリーの補助金を利用して新生児の命を救う機器を寄付。ハイチでは、医療ボランティアと助産師のために僻地に住む母子に医療ケアを提供できるように医療機器を搭載したジープの寄贈。インドでは、可動式のがん検診機器一式の提供。産科ろう孔の治療、出産によって産道に穴ができる疾患で、5年間の試験プロジェクトを始めて以来1500人への治療を行ってきたそうです。持続的に行われていて、その成果として地域社会が自力で母子の健康を守っていけるよう研修と支援を行うことによって持続可能な形での母子の健康を促進しているということです。

日本では、出産に伴う死亡は0ではありません。私は男なので出産に関してよくわかりませんが、想像以上に出産というものは女性への身体的、精神的に負担が大きいだらうと思います。出産後のケア、福祉から漏れている人が八戸にもたくさんいます。

子供を産み育てることはめでたいことですが、子供を産むことに命をかける状況が世界のあちこちにある、活動の内容を知って支援していければと思います。

「透明なゆりかご」という漫画があります。これはNHKでもドラマ化されました。ハードな現実が描かれています。機会がありましたらご覧ください。

点鐘



(誤字脱字がございましたらご容赦ください)